

＝ みなさまと共に安心できる社会保障全体の
充実を目指して ＝

きょうされん福島支部
副支部長 和田 庄司
事務局長 設楽 俊司

きょうされん応援団(賛助会員加入)のお願い

障害のあるなしに関係なく、住み慣れた街で暮らすこと。障害があっても労働を通して社会とつながり、給料を稼ぎ、やりがいを持って生きていく。そういった営みを通してみんなの生活が豊かになってゆく。こんな毎日を生きてゆくことは、誰しもが抱く願いではないでしょうか。

しかし、こういった願いも3月11日に発生した地震・津波・原発事故により、誰もが安心した暮らしには程遠い状況にあります。とくに原発事故は、震災から5年が過ぎた現在でも、福島のすべての人たちの暮らしの復興に重くのしかかってきています。この災害で、障がいのある人の死亡率がない人たちの2倍であるといわれます。障がいがあるから避難したくてもできなかつたり、視覚障がいや聴覚障がいへの配慮がないから原発事故の賠償をあきらめてしまつたりした事実。障がいがあっても命をあきらめることなく、あたりまえに生きていける国を作っていくために**ぜひ、私たちの応援団になってください。**

東日本大震災で私たちは全国の仲間からたくさんの応援を受け、仲間とつながっていることに多くの勇気ももらいました。この困難に顔をあげ、前を向いて立ち向かうため、つながりあえる応援団を、ひとりでも増やし、手をとりあいながら、福島に暮らすすべての人たちの生活が豊かになるよう活動をすすめてまいります。

「月刊きょうされんTOMO」は障害のある人たちの声を全国のみなさんに届けるものであるとともに、障害者施策のこれからをみなさんと一緒に考えていける素材、私たちが暮らす社会を考える素材となるものです。

きょうされんの運動は、誰に対しても毅然とものが言えるよう、自主財源のみで運営しており、購読料は大きな財源となります。ぜひとも、一緒に考えていただける応援団になっていただけませんか。

昨今は、公的年金の引き下げ・介護報酬の大幅引き下げ・格差社会の進行による貧困、児童の貧困問題など、多くの課題がある中、障がい分野に限らず、社会保障全体が縮小の方向で示されています。きょうされんは、様々な団体と連携をしながらこれらの問題に取り組んでまいります。東日本大震災における被災障害者の生活再建や被災事業所の再開、復旧・復興に向けて、また新しい制度づくり運動の原動力として、運動を大きく広げていくためにも、きょうされんの賛助会員にぜひとも加入していただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

<賛助会費>

個人 1口 3,000円 団体 1口 6,000円

取扱い事業所名
担当者
連絡先

きょうされん福島支部 賛助会員担当：佐藤美穂
【連絡先】なごみ TEL/FAX 0243-23-4551 (佐藤携帯：090-2023-6102)
住所：〒969-1403 二本松市渋川字大森越 122